

ころもがわ



磨きこまれた美しい光沢を放つ漆器の数々

「古いお碗の復活展～増沢塗から秀衡塗へ～」(秀衡碗を再生する会など主催)は9月13日から19日まで、衣川歴史ふれあい館で開かれました。

胆沢区で増沢塗を手掛けている及川守男さんらが中心となって企画したもので、奥州藤原氏時代から作られていたといわれる秀衡碗のほか、増沢塗や漆器作りの道具など約300点が展示されました。中でも秀衡碗は、及川さんらが県工業技術センターなどの協力を得て再現したもので、伝統的な技法を用いて作られています。訪れた人たちは、作品を見比べながら、それぞれの漆器が持つ美しさに魅了されていました。

奥州藤原氏の漆器を現代に
増沢漆器・秀衡漆器の企画展

まちの話題



来年1月から放送予定のNHK大河ドラマ「天地人」の岩手ロケは9月19日から25日まで、歴史公園えさし藤原の郷を中心に行われました。

「天地人」は上杉家家臣・置江兼続を主人公に、戦国時代の武将やそれを支えた女性たちの波乱万丈な人生を描いたドラマです。21日には主演の妻夫木聡さんをはじめ阿部寛さん、北村一輝さん、東幹久さんらが、第3話、5話のシーンを撮影しました。この日は地元エキストラ約70人も参加し、縁の下の力持ちとしてロケを支えました。

本市や藤原の郷の印象について、妻夫木さんは「空気がきれいですがすがしい。緑も多く、この土地の自然からパワーをもらいながら撮影したい」、内藤慎介チーフ・プロデューサーは「このようなオープンセットはなかなかなく、いい映像が撮れる」と話し、自然環境や施設に感心していました。

抜群の環境で撮影も順調に

江刺で大河ドラマ「天地人」ロケ

この記事はホームページ
での写真掲載を行いません
ご了承ください

ロケには主演の妻夫木さん(前列中央)ら豪華キャストがそろい踏み

まえざわ

住民スポーツを導いて60年

白山体育会が記念式典



白山体育会創立60周年記念式典は9月21日、前沢ふれあいセンターで行われました。式典では会に尽力した4人に、及川一雄会長から感謝状が手渡されました。

同会は白山村当時の昭和21年に千葉作七郎初代会長の下に発足。戦後の混乱期にありながら、同年には村民運動会を開催するなど住民のスポーツ振興にいち早く取り組みました。旧前沢町時代には町民駅伝10連勝を飾るなど他地区の目標となってきました。

式典終了後は、一関学院高校陸上部総監督の小岩光宏さんが「努力は全てを可能にする」と題して講演し、記念の節目に花を添えました。

住民同士の和と輪をつくる

小山で恒例の三世代ふれあい広場

今回で22回目を迎えた小山地区の恒例行事「三世代ふれあい広場」は9月14日、胆沢第一小学校校庭で行われました。この催しは、子どもから高齢者まで世代が異なる住民が集い、競技を通じて交流を深め、子どもたちの健全育成や明るい地域づくりに生かそうと続けられてきました。

当日は約1000人の地区住民が参加し「ボール送り」「ゲーム地域の"わ"」「ムカデ競争」など6種目に挑戦しました。中には胆沢区特産にちなんだ「ピーマン出荷競争」などユニークな種目もあり、参加した人たちは気持ちのいい汗を額に光らせていました。



年齢や体格が違ってもなんのその

いさわ

みづざわ

アテルイと金色堂が出現す

水沢・跡呂井地区の田んぼアート



高さ20㍎の物見やぐらから見た田んぼアート

水沢区跡呂井地区の農家を中心となって取り組んできた田んぼアートが実りの秋を迎えました。田んぼアートは、色の異なる稲を植えて田んぼに絵を描くもので、初めてのことはアテルイの顔と金色堂を描きました。

6月1日に行われた田植えには、市民ら約200人が参加し「ひとめぼれ」「黄稲」「朝紫」の苗を絵の形に沿って植えました。苗が大きくなるほど絵がくっきりと浮かび上がるようになり、車やバスを連ねて大勢の人たちが見学に訪れました。

10月11日には、再び市民が参加して稲刈りが行われ、11月には収穫祭も予定されています。

流しそうめんがやって来た

伊手保育所で思い出づくり

来年4月に統合、移転が予定されてる市立伊手保育所(橋本正所長、園児37人)で9月24日、職員8人と3歳児以上の園児が流しそうめんを楽しみました。

施設の老朽化と園児数の減少などを理由に藤里児童館との統合が決まっている同保育所では、園児たちの記憶に残るような行事を計画。市職員が手作りした流しそうめん用の道具を借り受け、日差しがやわらぐ9月の誕生会に併せて行いました。

準備のため竹に水を流しただけで、園児たちは大はしゃぎ。めんや果物が流れると、年少の園児もはしで器用にすくい上げ、おいしそうにほお張っていました。



みんなそろって「いただきます」

えさし